

平成30年度 リーグ戦会議

議 題

1. 平成30年度東海大学対抗テニスリーグ戦について
2. 平成30年度東海大学対抗テニスリーグ戦 注意事項
3. 締め切り日について
4. オーダー規約
5. 新1年生、新規登録者について
6. 試合終了後について
7. パンフレットについて
8. 固定表について（後日掲載）
9. オーダー用紙・スコアシートの書き方について
（後日掲載）
10. 担当学連について（当日配布）

平成 29 年度 全日本大学対抗テニス王座決定試合 東海地区予選
東海大学対抗テニスリーグ戦
注意事項

1. 出場資格

東海学生テニス連盟の4年制大学において登録年度数及び在籍年数4年以内とする。
但し、医学部系においては登録年数6年以内、短期大学は2年以内とする。

2. 組み合わせ

・ 組み合わせは男子、女子ともに1～5部は前年度順位に基づき以下の通りとする。

(男子1～5部、女子1～4部)

第1戦	第1位	対	第6位	第2位	対	第4位	第3位	対	第5位
第2戦	第1位	対	第5位	第2位	対	第3位	第4位	対	第6位
第3戦	第1位	対	第4位	第2位	対	第5位	第3位	対	第6位
第4戦	第1位	対	第3位	第2位	対	第6位	第4位	対	第5位
第5戦	第1位	対	第2位	第3位	対	第4位	第5位	対	第6位

(男子6、7部、女子5部)

第1戦	第1位	対	第4位	第2位	対	第3位
第2戦	第1位	対	第3位	第2位	対	第4位
第3戦	第1位	対	第2位	第3位	対	第4位

※各対戦は学連が定めた締切日までに終わらせるものとする。

3. 順位決定

勝率の高いチームを上位とし、2チームが同率になった場合は、お互いの対戦結果（直接対決）の勝者とする。

3チームが同率になった場合は、以下の要素で順位をつける。

① 総勝利試合数の多いチームが上位

② ①が同じ場合、全試合での取得セット率が高いチームが上位

取得セット率＝取得したセットの合計数÷全試合のセット合計数

③ ②が同じ場合、全試合での取得ゲーム率が高いチームが上位

取得ゲーム率＝取得したゲームの合計数÷全試合のゲーム合計数

4. コート選択権（2～7部）

コート選択権は上位校にあり、コート選択はリーグ戦会議の時に行う。やむなく、コートを変更する場合は対戦日より1週間前までに両校の合意のもと決定しなければならない。

5. 試合形式

- ・ 男子 3セットマッチ各セット6-6後ITF12ポイントタイブレーク方式
ダブルス 3ポイント シングルス 6ポイント
- ・ 女子 3セットマッチ各セット6-6後ITF12ポイントタイブレーク方式
ダブルス 2ポイント シングルス 3ポイント

6. 試合の順序

原則として以上の通りである。但し、試合状況により大会委員会の判断でポイント決定後打ち切ることがある。基本的に男子は3面進行、女子は2面進行で行うが、進行上の都合それ以上になる場合もある。

- ・ 男子 ダブルス 第3位から順次第1位まで
 シングルス 第6位から順次第1位まで
- ・ 女子 ダブルス 第2位から順次第1位まで
 シングルス 第3位から順次第1位まで

※ シングルス No5、No6 のレスト状況によってはNo2、No3を先に入れるものとする。

7. 試合開始時刻

- ・ 1部

試合開始時刻は原則として男子、女子ともにダブルスを午前10時とし、引き続きシングルスを行うものとする。

- ・ 2～7部

試合開始時刻は原則として男子、女子ともにダブルスを午前9時とし、引き続きシングルスを行うものとする。但し、試合会場が遠隔地にある場合、両校代表者によりこれを変更することができる。

※時刻は時報（117）を基準とする。

8. オーダー交換

- (1) 各種目試合開始前に指定されるコートに出場選手が必ず整列すること。整列していない場合のみ当該選手の試合を没収試合とする。閉会宣言時には各種目出場選手が整列する。このとき何らかの理由で整列できない場合には、事前にレフェリー（2～6部はレフェリーと担当学連と相手校）に申し出ること。尚、シングルのオーダー交換は、ダブルスの試合終了後即座に行う。（オーダーを書き換える等の時間は認める。）又、整列時はウェアを着用しておく。ウォームアップスーツを着用する場合も中にウェアを着用していなければならない。着用していない場合は即座に着替えさせる。（特にペナルティーは課さない）
- (2) 出場する選手は必ずオーダー交換時にサービスライン上に整列することを義務とする。また、サブメンバーに関しては後列に整列するかは各大学に任せるものとする。

9. オーダーの変更

オーダー交換後の変更は一切認めない。但し、次対戦に関してはオーダー規約に反しない限り以下のように認める。

- (1) 第1戦のオーダーを基本とする。
- (2) オーダー規約に基づき、出場順位の高い資格を有する選手から高い順位に入る。同等の資格を有する選手同士の順位は問わない。
- (3) 第2戦以降のオーダーは全試合基本オーダーに基づき、1人の選手につき同等の資格を有する前後1つの順位の選手との入れ替わりを認める。即ち2段階以

上の順位の異なる選手が逆になってはならない。

- (4) 同等の資格を有する選手の順位に関しては、比較する2人の選手が初めて同時に出場したときのオーダーを基準とする。
- (5) 第2戦以降新たに選手を入れる場合、またはオーダー規約の順位に変更がある選手を出場させる場合、入る場所は(2)に従い、新しく入った選手(またはオーダー規約に変更があった選手)を除いた残りのメンバーの中で、(3)及び(4)に沿った移動が可能である。
- (6) 単複2種目で同じ選手が2回出場することはできるが、同じ種目に1人の選手が2回以上出場することはできない。
- (7) ダブルスのオーダーもシングルスと同様に考える。
- (8) 人数不足の際は、順位の高いほうから選手を入れていく。

10. 服装

- (1) 服装はテニスウェアであれば色は問わない。男子はシャツ (Tシャツは不可) にパンツ、女子はワンピース又はシャツ (Tシャツは不可) にスカートあるいはショーツとする。尚、ウォームアップスーツ等の着用はウォームアップ時に限定する。寒い場合はレフェリーの判断により認める。
- (2) ロゴは“JTA テニスルールブック”に基づき、違反ロゴに対するテープの使用は認めない。
- (3) 大学のロゴについて大きさの規定はない。

11. ベンチコーチ

1面1名で90秒のエンドチェンジ間、120秒のセットブレイク間以外に立ち上がったたり、選手に触れたり、話しかけたりしてはいけない。服装については問わないが必ずテニスシューズを着用するものとする。

それに違反した場合

1回目 注意 2回目 警告 3回目 退場

※その行為が故意的でないとしても同様である。また、退場した場合その試合中の代理は認められない。

(1) 資格

出場校のテニス部員で、東海学生テニス連盟に加盟している部員。それ以外のものは、大会を通じて1日につき2名までベンチコーチとして随時大会本部にて登

録することができる。(同日中の変更は認めない)

(2) 入退場

コートの入場回数は問わないが、交代は1試合につき1回のみとする。(交代はアップ開始時からの適用とする) 但し、入退場に関してはコートレフェリーにその旨を伝える。必ず90秒のエンドチェンジ間又は120秒のセットブレイク間に入退場すること。

(3) トイレットブレイク

ベンチコーチ自ら申し出ることはできず、選手と同じ時にのみトイレットブレイクをとることができる。これは交代には含まれない。しかし、トイレットブレイク中に観客等の第3者と話した場合はベンチコーチに戻ることはできない。また、その後のベンチコーチの補充もできない。

12. ボールパーソン

ボールパーソンをつけるかどうか、或いはどのようにつけるかは両校代表者の話し合いで決めるものとする。ボールパーソンは1コート2名(各大学1名まで)、一切の応援をしてはならない。選手、応援、ベンチコーチと会話してはならない、又触れてはならない。

それに違反した場合

1回目 警告

2回目 ボールパーソンの禁止、失点

※その行為が故意的でないとしても同様である。

13. 審判

- ・ 1部

中立校から審判を出すものとする。

- ・ 2～7部

原則として上位校がオーダーの奇数試合のSCUを出すものとする。

14. オーダー

選手出場順位はオーダー規約に従うものとし、学連提出用と相手校提出用の2通を用意すること。尚、選手が必要本数に満たない場合は第1位より順に入れるものとする。

15. 雨天及び日没

レフェリー又は両校代表者が、雨天及び日没により試合不可能と判断した場合、その

対戦の中止、中断、打ち切りをすることができる。

・ 1部

中止、中断の場合はその試合の再開の時刻及び会場はレフェリーによって決定される。

・ 2～7部

中止、中断の場合はその試合の再開の時刻及び会場は、両校代表者によって決定される。但し、次対戦前に終了させなければならない。決定後、両校代表者は担当学連にその場で報告する。両校で意見が食い違った場合は、最初の決定日時はレフェリーが判断する。尚、中断の場合、サービスサイド、スコア一等の記録、ボールの保管は当該選手の責任とする。

※日没は新聞発表の時刻を原則とする。

16. ウォーミングアップ及びコートチェンジ

- (1) 試合開始前のコートでのウォーミングアップは5分以内とする。
- (2) コートチェンジは90秒以内、ポイント間は20秒以内とする。
- (3) コートレフェリーに試合の進行を促されても試合に入らない場合は、随時ポイントペナルティ制度を適用する。
- (4) 雨天などで中断した試合を同1日中に再開する場合の練習。

15分以下の中断 なし

15～30分の中断 3分以内

30分以上の中断 5分以内

17. 棄権

自然的体力消耗(めまい)による試合中断は随時ポイントペナルティ制度を適用する。尚、偶発的事故による怪我のために試合続行できなくなった場合は、1回の事故につき1回だけ3分以内の治療を認める。

※ 治療はコートで行うものとし、1部ではオフィシャルトレーナーが行うものとする。

※ 2部以下では、コート内に出場資格の有無に関わらず1名の入場を認める。

この1名はMTOのたびに変わってもよい。ベンチコーチは治療の手伝いをしてよい。

※ 治療時間(メディカルタイムアウト)をとりたいときはベンチコーチが主審にその旨を告げ、主審からコートレフェリーに連絡するものとする。(2～6部は主審が

3分はかる。)

※ 治療時間（メディカルタイムアウト）は治療開始から3分以内とする。

18. 応援

応援とは試合を盛り上げ、自校のチームを勝利に導くためのものであって相手校をやじるためのものではない。よって、相手校を侮辱する応援、ジェスチャー、器具（道具）などを用いて相手校、相手選手、審判などの心理を攪乱させるような行動及びプレーの妨げとなる行為をしてはならない。学生スポーツ精神に反し、良識を欠くとみなされる場合にはレフェリー又は審判が客観的に判断し処分する。道具を使つての応援は一切禁止とする。

※ 不正な応援に対する処分（応援者に対して）

- 1回目 警告
- 2回目 拍手のみの応援、失点
- 3回目以降 応援の禁止、失ゲーム

※ その行為が故意的でないとしても同様である。

※ 自校の応援も選手がコントロールする義務がある。

19. プレイヤー（選手）

※ 学生スポーツマンシップに反し、コートマナー及び競技規制を厳守せず学生精神の向上並びに学生テニス界の発展、統一に支障をきたす選手は当該ポイント失格のうえ幹事会において処分する。学生スポーツ精神に反する態度（暴力など）をとった大学を全日本大学テニス王座決定試合に推薦しない場合がある。自校の応援も選手がコントロールする義務がある。

20. 試合球

使用ボールは公認ダンロップフォートテニスボール（イエロー）とする。

(1) 1部

ボールチェンジは9-11-11とし試合中のパンク、ロストについては、コートレフェリーが試合進行状況から判断し処置する。

(2) 2～7部

ボールチェンジはファイナルチェンジとし試合中のパンク、ロストについては両校の判断でこれを処置すること。奇数試合のボールは上位校、偶数試合のボール

は下位校が出すこととする。又、ロストボールの可能性があるのでボールは多めに持っていくこと。

21. 没収試合

- (1) 学生スポーツ精神に反すると大会委員もしくはレフェリーが認めた当該試合。
- (2) オーダー交換時に、出場選手が整列していない場合のその当該試合。
- (3) 試合開始の際、出場選手が試合に入らない場合のその当該試合。
- (4) オーダー規約に反した場合のその当該試合。(大会委員もしくはレフェリーが確認したもののみ)
- (5) インプレー中に痙攣などでプレーが中断している場合、その選手にダブルスパートナーが触れたその当該試合。
- (6) 式次第の時、オーダー用紙が無い場合の当該試合。
- (7) オーダー用紙をオーダー交換時に持っていない場合の当該試合。
- (8) 「9. オーダーの変更」の規定を破ったその当該試合。
- (9) 過去の判例により“所属学部によってどの団体に所属するかが決まる”というものが決定されており、同じ大学でも別団体として扱う文章が存在しているためそれに該当する大学が該当する選手を出場させた場合の当該試合。

※ 訂正する場合は2重線と部印のみにより認められる。ペナルティーは加算されない。

22. 質疑、抗議

・ 選手

審判にそのプレーに対する判定に質疑することはできる。但し、レフェリー（コートレフェリー）に直接質疑することはできない。

・ ベンチコーチ

質疑・講義ともにできない。

・ 審判（SCU）

ベンチコーチがレフェリーを申請した場合ゲームの進行上、支障がなければコートチェンジの際にレフェリーとベンチコーチの質疑の対応ができるようにすること。但し、ポイントの判定による場合、直ちにレフェリーを呼ぶこと。更に、怪我やコード・オブ・コンタクト、アクシデントが起こった場合は、レフェリーをコートに呼んでおくこと。

- ・ 質疑権所有者

オーダーに対する質疑、試合進行に関する質疑を大学に代表してレフェリー、ディレクターと対応するものであって、プレー、判定、相手校の応援に対し質疑するものではない。(2～7部は相手校に質疑の旨を伝えた上で試合にあった日に担当学連に連絡し、その指示を仰ぐこと。)

23. トイレ休憩

ウォームアップ中も試合中と同様回数に数える。選手がコートに戻った後残り時間を使ってウォームアップを再開する。相手選手は待っている間、第3者とウォームアップすることはできない。コートレフェリーがついていく。(2～7部は相手校の主務) 終了後は余りのレストの時間は使用できない。(90秒以上かかった場合) また、終了後にベンチ等に座ることはできない。

- ・ 男子

1試合にシングルス1回、ダブルス1組2回、トイレを理由に原則としてセットブレイク時に理にかなった時間(約5分間)でとることが出来る。但し、状態が深刻であると判断した時は例外がある。

- ・ 女子

- ・ 1試合にシングルス、ダブルス(1組)で共に2回、トイレ又は着替えのいずれかの理由で理にかなった時間(約5分間)でとることが出来る。セットブレイク時が望ましい。但し、状態が深刻であると判断した時は例外がある。着替えはセットブレイク時のみとする。

24. 休憩

一切認めない。

25. ポイントペナルティ制度

今大会はこの制度を採用する。この制度は、スポーツマンシップの高揚と試合秩序の維持をはかり、コートマナー及び競技諸注意規則を厳守させることにある。ダブルスのペアの1人が犯した違反はペアに対して科される。

1回目 警告 2回目 失点 3回目以降 その都度失ゲーム

3回目の違反の後には、違反のたびに失格を与えるかどうかレフェリーが判断をする。但し、重大な或いは悪質な違反の場合は1回目であってもレフェリーが失格を決定することができる。

26. その他

コートを手勝手に離れた場合

1 回目 警告

2 回目 失格

パラソルはチェンジコート間のみ開いてよい。

大会委員は幹事 9 名で構成し、大会必要事項に関して最終決定権を有する。その他のルールについては JTA ルールに基づく。

締め切り日について

- 男子 2 部～7 部、女子 2 部～6 部

第 1 戦	第 2 戦	第 3 戦	第 4 戦	第 5 戦
7/7～7/15	7/16～7/29	7/30～8/12	8/13～8/26	8/27～9/9

☆入れ替え戦 9/10～10/31

*上位校にコート選択権がありますが、上位校、下位校ともにリーグ候補日にコートが使用できるかを確認しておいてください。(昨年、直前になってコートが使用できないという事例があったため)

*第 3 戦以降は夏休みの大学も多いため、平日も候補として予定の確認をお願いします。

*エントリー会での予定日の話し合い時に、上位校と下位校とで意見が合わないことがないように、また天候不順でリーグが行えなかったということがないように、できるだけ多くの候補日を検討するようお願いします。

全日本大学対抗テニス王座決定試合 東海地区予選
東海大学対抗テニスリーグ戦 オーダー規約

選手出場順位は以下の規定に基づくものとする。

(1) シングルス

- 1、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)ベスト 8
- 2、前年度全日本テニス選手権大会本戦(単)出場
- 3、全日本学生テニスランキング(単)10位以内(2017年9月末発表時点)
- 4、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)ベスト 16 進出者
- 5、全日本学生テニスランキング(単)20位以内(2017年9月末発表時点)
- 6、JTA(単)ランキング 100位以内(2017年第38週時点)
- 7、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)ベスト 32 進出者
- 8、全日本学生ランキング(単)40位以内(2017年9月末発表時点)
- 9、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 単本戦優勝者
- 10、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)出場者
- 11、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会ベスト 8 進出
- 12、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)予選出場者
- 13、前年度東海学生テニス単 TOP10 プレイヤー
- 14、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 ベスト 16
- 15、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 単本戦出場
- 16、本年度本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 単予選決勝進出者
- 17、無資格者

※ 3.5.8.は、試合前一週間を切らずに全日本学生単ランキングが更新された場合は更新された全日本学生単ランキングを適用するものとする。

※ 3.5.6.8.13.は、明らかに順位が上の者を上位とする。

※ 1.10.11.は、当該大会において明らかに成績が上の者を上位とする。

(2) ダブルス

- 1、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)ベスト 4
- 2、前年度全日本テニス選手権大会本戦(複)出場
- 3、全日本学生テニスランキング(複)10 位以内(2017 年 9 月末発表時点)
- 4、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)ベスト 8 進出者
- 5、全日本学生テニスランキング(複)20 位以内(2017 年 9 月末発表時点)
- 6、JTA(複)ランキング 100 位以内(2017 年第 38 週時点)
- 7、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)ベスト 16 進出者
- 8、全日本学生ランキング(複)40 位以内(2017 年 9 月末発表時点)
- 9、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 複本戦優勝者
- 10、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)出場者
- 11、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会ベスト 8 進出
- 12、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)予選出場者
- 13、前年度東海学生テニス複 TOP10 プレイヤー
- 14、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 ベスト 16
- 15、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 複本戦出場
- 16、本年度本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 複予選決勝進出者
- 17、無資格者
 - ※ 該当項目の和が少ないペアを上位とする。
 - ※ 3.5.8.は、試合前一週間を切らずに全日本学生複ランキングが更新された場合は更新された全日本学生複ランキングを適用するものとする。
 - ※ 3.5.6.8.13.は、明らかに順位が上の者のいるペアを上位とする。
 - ※1.10.11.は、当該大会において明らかに成績が上の者のいるペアを上位とする。

新1年生・新規登録者について

新一年生または新規登録者をリーグ戦に出場させる場合、リーグエントリー会に該当者の個人登録費明細表、平成30年度加盟校選手登録名簿を東海学生テニス連盟HPよりダウンロードし、学連のアドレスまでメールに添付して送ってください。提出されていない場合は、リーグ戦に出場出来ません。万が一、未登録選手がリーグ戦に出場した場合、当該試合が没収試合となりますのでご注意ください。

ご不明な点がございましたら本大会ディレクター 櫻井 健翔 までご連絡ください。 TEL 090-4213-6071

試合終了後について

- (1) 試合終了後、勝利校がその日のうちに担当学連に **LINE** でスコアシートの写真とともに試合結果を報告してください。 (『シングルス〇本、ダブルス〇本、計〇本で～大学の勝ちです』)
何かトラブルが起こった場合は、必ずその際に伝え担当学連の指示を仰いでください。
- (2) 勝利校は相手校から学連提出用のオーダー用紙 (シングルス・ダブルス) を受け取り、スコアシートに必要事項を記入し、自校の学連提出用のオーダー用紙 (シングルス・ダブルス) と合わせて担当学連に **速達で郵送** してください。

※ 速達郵便物（計 5 枚）

- ・ 自校の学連提出用のオーダー用紙（シングルス・ダブルス）
- ・ 相手校の学連提出用のオーダー用紙（シングルス・ダブルス）
- ・ スコアシート

(3)今年度よりスコア打ち込み作業のミス防止や学連の負担軽減、運営期間中で担当者が家に不在であってもスコアを見られるようにするため Excel ファイルによってスコアシートを作成していただき、メールにて送信することも郵送と合わせてお願いいたします。送信は、リーグ試合終了後できるだけ速やかにお願いいたします。

パンフレットについて

今年度のリーグのパンフレットを各大学男女 1 部ずつ無料配布します。それ以外での購入を希望する大学は、エントリー費明細のパンフレット欄に冊数をご記入ください。金額は、1 冊 1, 0 0 0 円とします。